



ピタゴラススイッチを作るのってこんなに難しいの!?(探究塾)

スラスラ書けた一筆書き!(探究塾)

翠月ちゃんと涼太くんが数学の勉強!(ベースキャンプ)

まだ染色していないみかん箱Tシャツを着て、リレーの応援!(ベースキャンプ)

高校生からハンドボールを教わって、本気のPK戦をしたよ!(ベースキャンプ)

写真の一部を加工しています。

会員募集中!

mikanbako.info



みかん箱の会費、開所日時など詳しくはウェブサイトをご覧ください。

編集後記

今回のみかん箱通信は学生ボランティアと子どもとの繋がりや関わりをテーマに作成しました。子どもたちだけでなく、学生ボランティア含むおとなたちにとっても一緒に成長し楽しめる居場所にしていきたいと思っています。自分の持っている力や経験値を使って子どもたちの成長をサポートしましょう!

(編集員: 國嶋)

みかん箱通信

秋号 No.2 **無料**

一般社団法人みかん箱
〒040-0053
北海道函館市末広町9-9
電話 0138-84-5762

- 発行人: 曾我直人
- デザイン: スギナカモモコ
- みかん箱通信編集員:
押野友美、國嶋莉々、福田琢磨



みかん箱運営報告

小学生会員数	7人
中高生会員数	13人
ボランティア数	5人
非常勤職員数	8人
常勤職員数	1人

(2024年9月1日時点)



みかん箱通信



子どもがいくところ・おとながいるところ



ここだから出会える学生ボランティア



夏が終わり、秋が始まりそうな季節になりましたね。私は今年の6月から学生ボランティアをしています。ベースキャンプでは性格や趣味、特技も違う個性豊かなおとなと子どもがいます。みんながコアタイムで壁を感じず年齢関係なく楽しんで一体となって活動する姿勢を見るのがとても好きです。はらごしらえを美味しく食べる姿も愛おしいです。みかん箱のボランティアで子どもたちと一緒に活動しましょう!

(佐孝 琉菜 学生ボランティア 大学1年生)

— 学び・出会い・感動を繰り返して、人生を豊かにする —

おしのともみの きになることも、きいてきました!



信じる気持ち、成長支える

さとう (おとな)
佐藤 ことほさん (函科大4年)

古民家を活用し、大学生らが共同生活を送る「わらじ荘」に住んでいます。1年生の時から、道南地域を拠点に活動する教育団体「いとのこ」を手伝っており、高校生と関わることは多くありましたが、小中学生と関わったことはそんなにありませんでした。

みかん箱はわらじ荘と一緒に住んでいる子から教えてもらい、5月から週1回程度来ています。ちょうど良い距離感で、心地良く、みかん箱のこども、おとなに会いに来るのが楽しみです。

みかん箱のこどもたちがわらじ荘に来てくれたことがあります。アシストせずに見ていましたが、こどもたちが住んでいる人たちに事前に準備してきた質問をしたり、がんばって話をしたりしている様子に「ちゃんとできるんだなあ」と思い、手放すことも「信じている」ということになると感じました。いろいろな方法がありますが、信じている気持ちを伝えることは大事です。私は「いとのこ」の2人に信じてもらえて成長できたことがとても大きいです。

大学卒業後は、飲食店の運営会社に就職します。スタッフのマネジメントをするほか、ホールスタッフとしても店舗に立ちます。会社の理念は、金銭面、精神面も自立したスタッフを育成することです。接客業に入ってきたばかりのスタッフが自立していく過程と一緒に味わいながら、成長を支えたいと思っています。

おとなの中の「学生ボランティア」 に焦点を当てました!



こどもたちとの交流、良い経験

やまだ りょうた (おとな)
山田 涼太さん (函館高専4年)

道南の高専生、大学生、院生がメンバーの学生団体「ISARIBI with」で活動し、宗教上の理由や、ベジタリアンなど様々な事情をもつ人たちも食を楽しめる飲食店マップ作りに取り組んでいます。

その取り組みの1つとしてムスリムの人への取材も兼ねて、8月下旬に、みかん箱で開かれた留学生の交流会に参加しました。

サッカーが好きなのですが、交流会に参加していた韓国人と、こどもとサッカーの話題で盛り上がったのがすごく楽しかったです。

そして、ちょうどみかん箱に男子学生のボランティアがいなくて聞き、楽しいからやりたいと思いました。あまり年下の人と話す機会がなかったので、良い経験になると思いました。

今は週3回ボランティアをしています。こどもに接してみると、こどもはおとなより仲良くなるのに時間はかからず、距離が縮まる瞬間があることがわかりました。

みかん箱活動の日は、毎回、おとなと一緒にまかないを食べるのが楽しみです。一緒に食事していると家族みたいな感じになるのですが、食事をしながらおとなは「この場所はどうかあるべきか」を真剣に考え、深い話をしています。色々なことを考えた上でこどもに接しているんだと感じ、すごいと思いました。

進路については、研究、起業など色々なことに興味があり、まだ迷っています。自分がやりたいことと、こどもと接することにつながりはないかもしれませんが、学生の今、この経験ができていくのが良いと思っています。



無我夢中!一生懸命!
遊びと学び、一石二鳥な
四字熟語カルタ♪
(探究塾)



くにしまりりの
シッターチャンス
じゃないですか?



表紙の写真で
着ている
みかん箱Tシャツ
ができたよ!
(ベースキャンプ)



リラックスできる場所



かたおか あいこ
片岡 愛子さん (中3)

6月からみかん箱に週に2回通っています。

幼馴染に「学童のようなところだよ」と教えてもらい、楽しそうだなと思ったのがきっかけです。

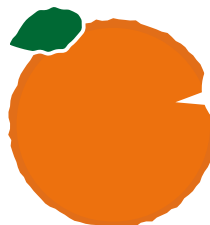
活動はカードゲームをしたり、建物の周辺を散策したり…。今は10月に開かれる「世界に一冊だけの本・展」に向けて出品する本をみんなで作っていて、みかん箱の活動をまとめて紹介する本と、みんなで物語を作って本にする予定です。

みんなでスイーツとか作ってみたいです。

「はらごしらえ」の時間が毎回楽しみです。しそ、ねぎなど薬味がいっぱい入っているそうめんがとても美味しかったです。

私は話をするのがあまり得意ではないけど、学生ボランティアのみなさんが優しく、話を引き出してくれます。みかん箱は学校よりリラックスでき、家みたいな場所になっています。

みんなで料理、達成感



さとう みづき
佐藤 翠月さん (中3)

今年の春に同級生に誘われて、みかん箱の活動を体験できる交流イベント「オープンみかん箱」に参加したら、とても楽しかったんです。家にいるとくつろいでしまうので、集中できるところで勉強しなきゃと思っていたのですが、勉強ができる空間もありました。

みかん箱には週1回通っています。勉強でわからないところがあったら、おとなに聞くことができます。例えば、数学は順を辿って教えてくれるのでとてもわかりやすいです。

みかん箱は、いろんな年齢層の人がいて、普段はあまり話す機会がない人も話せます。年齢の幅はあるけどみんな親しみやすい人たちです。

全員で取り組む「コアタイム」で、夏に「まるちゃん」に教えてもらい、「手抜きうどん」を作りました。みんなで作ったのが美味しかったです。料理はみんなで作ると美味しいし、達成感があります。

ベースキャンプの
活動記録本の
作成中!



美味しいかき氷や焼き鳥、
大道芸人に出会えた芸術祭!
(ベースキャンプ)



ことほさんに
よさこいを教わったよ!
(ベースキャンプ)



詳しくはこちら!

学生ボランティア募集中!

●火水木の13時半～20時頃 ●まかない夕食つき ●交通費1,000円支給



写真の一部を加工しています。